

ベンチレーターはパートナー

～人工呼吸器と共に地域で生きる子どもたち～

平成24年5月26日(土)

時間: 13時30分～15時30分 (13時受付開始)

場所: 静岡医療福祉センター4階研修所(静岡市駿河区曲金5丁目3-30)

※お車の方は駐車場をご用意いたします。事前にご連絡下さい。

講師: 折田みどりさん、涼さん親子 (バクバクの会)



人工呼吸器をつけた子どもたちのことを、私たちは、ありったけの愛情と親しみを込めて『バクバクっ子』と呼んでいます。バクバクとは、いつでもどこでも、大切な子どもたちに、生命をつなぐ呼吸を私たちの手で送ってあげられる手動式人工呼吸器(アンビューバッグ)のことで、それを使うとき「バクッ、バクッ」と音がすることから名づけられました。『バクバクっ子』は、呼吸器をつけて生きる子どもたちにピッタリの愛称だと、私たちは自負しています… (折田みどりさん)

人工呼吸器をつけて暮らす子どもたちは、全国に1,000人以上いると言われています。「バクバクの会」は、1990年より、人工呼吸器をつけた子どもたちの「命と意思」を大切に、人工呼吸器をつけていてもどんな障害があっても地域の中で当たり前で暮らせる社会の実現を目指して活動しています。今回は、「バクバクの会」事務局長の折田みどりさんと涼さん(地域の高校を卒業し現在は自立生活をしている)親子を静岡にお招きし、お話をうかがいます。人工呼吸器は、決して病院で生きながらえるための生命維持装置ではありません。地域で、自分自身の人生をエンジョイするための、大切な暮らしのパートナーでもあるのです。

参加費: 無料

◎主催 特定非営利活動法人ひまわり事業団

静岡市駿河区小鹿2丁目1-15

TEL: 054-288-6068 e-mail: himawari@scil.jp

★参加ご希望の方は、お電話にてお申込み下さい。